

氏名	辻 玲子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	1994年慶應義塾看護短期大学看護学科、1999年大分医科大学医学部看護学科、2001年日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程、2021年宮城大学大学院看護学研究科博士後期課程				
経歴	2012年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本認知症ケア学会（代議員、関東1地域部会委員、査読委員）、日本老年看護学会、日本看護管理学会、日本赤十字看護学会、埼玉県立保健医療福祉科学学会、日本看護科学学会、日本褥瘡学会、日本保健医療福祉連携教育学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	クエスチョンバンク 介護福祉士 国家試験問題解説2026 第18版	共著	あり	メディックメディア；P.665		辻玲子、赤羽克子、新井恵子、飯塚慶子、他17名（計21名）	2025.4
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	高校生ヤングケアラーの支援者間連携における促進因子と阻害因子	共著	あり		保健医療福祉連携、19(1)、	辻玲子、水間夏子、上原美子、浅井宏美、東口晴菜、常盤文枝	2026.3
2	皮膚・排泄ケア認定看護師が訪問看護師に行う褥瘡コンサルテーション	共著	あり		日本褥瘡学会誌、28（1）、18-26	島田美穂、林裕栄、武田美津代、善生まり子、辻玲子	2026.2
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	A県における高校生ヤングケアラーを支援するスクールソーシャルワーカーの実践と支援上の課題	共同	第18回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会、東京		○水間 夏子、辻 玲子、上原 美子、浅井宏美、東口 晴菜、常盤 文枝		2025.10
2	高校生ヤングケアラーのJ-KIDSCREEN - 27を用いたQOL評価	共同	第45回日本看護科学学会学術集会、新潟		○東口晴菜、浅井宏美、辻玲子、水間夏子、常盤文枝、上原美子		2025.12
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	高齢者虐待の予兆を察知し虐待に至らしめない外来看護支援モデルの検証と評価		研究代表者		2022.4～2026.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	高校生ヤングケアラーのQOLに資する支援者間連携モデルの構築		研究分担者		2023.4～2027.3	
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	認知症看護		1	学部4年次生選択者32名に、認知症の人の介護者支援をしながら、高齢者虐待に至らしめない予防も含む看護実践についてを講義した。			

2	家族看護学		1	学部2年次生に、認知症高齢者を介護する家族支援（日本の現状と課題、支援の考え方、サポートの種類、援助の実際）を講義した。
3	地域ケア支援論		2	修士課程1年次生と地域における認知症高齢者への支援について、関連文献を抄読しながら、実態と今後の課題のディスカッションを行った。
4	臨床薬理学（CNS）		3	修士課程1年次生が体験した事例を基に、症状アセスメントや服薬管理の理論への活用、服薬管理困難事例の対応方法、専門看護師の役割についての検討を行った。
5	老年看護援助論		2	修士課程1年次生と認知症高齢者を介護する家族支援とエンドオブライフケアに関して、講義と学生の臨床における事例において検討した。
6	在宅看護学特論		2	修士課程1年次生と在宅療養移行期の患者、家族への看護について、在宅療養移行期の多職種連携の現状と課題、ケースマネジメント、看護職者に期待されている役割を検討した。
（2）演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学Ⅱ（援助技術）		7	・ スポンジブラシと口腔ケア用ウェットティッシュと保湿剤を用いた自己口腔ケア演習と、口腔ケアモデルを用いた義歯の出し入れ演習をした（2コマ） ・ 高齢者疑似体験セットを患者役の学生に着用させて、移動能力が低下した高齢者のもてる力を発揮した起き上がり援助、軽介助による杖歩行を実践する演習を行った（2コマ） ・ ベッド上で高齢者のおむつ装着およびおむつ交換の体験演習を行った（3コマ）
2	老年看護学Ⅲ（看護過程）	○	15	老年看護実践に必要な情報の収集、アセスメントの記述、看護上の問題・課題の記述に関しての講義とグループワークを行い、看護過程を展開できるように教授した。
3	老年看護学Ⅳ（地域とケアシステム）		4	1・2・7・8回は、グループワークを行う際にラウンドして、進行状況を確認めたり、質問に回答した。
4	スタートアップセミナー	○	15	1年次生に対して、前半の講義では“大学生活の基礎知識”と“学士力育成のための基盤となる読み、書き、話すといったリテラシー”を教授し、後半では、少人数グループに分かれて課題解決型学習の支援を行った。
（3）実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学実習Ⅰ		2025.4～2025.6	2年次生14名を担当し、2か所の老人福祉センターにおける元気高齢者とのコミュニケーションを中心とした実習指導を4週間かけて（1人につき2日）行った結果、高齢者へのイメージや捉え方が変化した。
2	老年看護学実習Ⅱ		2025.10～ 2025.12	3年次生22名を対象に、医療療養型病床の使用又は学内での8週間の実習と特別養護老人ホームの対面実習を行った結果、看護展開しつつ、高齢者の病状やADL、認知症の症状にあわせた援助や多職種との連携の基礎を学ぶことができた。
3	総合実習		2025.4～2025.7 学外実習：3日 学内ゼミ：4コマ	4年次生3名が、医療療養病棟での3週間の実習において、自分の課題と向き合いながら、介護度が高い患者への看護実践が展開・体験をして、かつリフレクションができるように、事前ゼミと実習中を通してアドバイスをした。

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4～2026.1	主指導	2名副指導2名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	老年看護学概論（非常勤講師）	2025.10～2026.1	上尾看護専門学校1年生約40名への講義を対面で14コマ施行した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	第1回埼大オレンジシンポジウム	埼玉大学社会変革研究センター	基調講演：認知症基本法を踏まえて考える”ともに生きる”ケア：看護教育と現場の協働から	2026.1
2	本学特定講座 埼玉未来大学講師	いきいき埼玉	介護を考える（東部学園76名、南部学園72名対象）	2026.2
3	院内看護研究指導	草加市立病院	6グループに対して6回に渡り、研究結果・考察をまとめ、看護研究発表会で発表できるよう指導を行った。	2025.4～12
4	本学オープンカレッジ講座	埼玉県立大学看護学科老年看護学領域	卒業生交流会 看護職のキャリアアップについて考えよう 大学院生と修了生による活動報告・座談会	2025.10
5	関東1地域部会 事例検討会 運営	日本認知症ケア学会	多職種よれば文殊の知恵: 講演会と事例検討会(2回)	2025.9 2026.2
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本認知症ケア学会	関東1地域部会委員		2014.4～現在
2	日本認知症ケア学会	代議員		2016.6～現在
3	日本認知症ケア学会	日本認知症ケア学会誌査読委員		2020.6～現在
4	日本認知症ケア学会	認知症ケア専門士認定試験 第2次試験審査委員		2025.11
5	越谷市	越谷市防災会議委員		2024.4～2028.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	看護学科カリキュラム運営検討会委員		2024.4～2026.3
2	大学広報活動	高校出張講座「看護学を志す高校生のための看護学入門」を埼玉県立草加南高等学校の高校生15名に対して行った。		2025.10
3	大学広報活動	オープンキャンパス 教員相談運営		2025.6
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			